

2012年(平成24年)11月19日(月曜日)

## 日本経済新聞



介助犬が寝たきりの高齢者を補助することで、家族の負担を少しでも減らしたい――。大阪府東大阪市の柳本忠二さん(68)はこんな思いで2009年、特定非営利活動法人(NPO法人)「近畿介助犬訓練所」を設立した。幼い頃から犬好きだったが、認知症の義母の介護で苦労したのを機に介助犬訓練を思い立った。周辺の迷惑にならないよう奈良市の山中に土

### 介助犬訓練 家族の負担減らしたい

地を探し、1級愛玩動物飼養管理士などの資格も取得した。

本業のレーザー加工機メーカーの社長業の方が忙しかったが、今年、息子に社長を譲り、本腰を入れて活動できるようになり、訓練所に泊まり込んでいます。現在、7頭のゴールデンレトリバーを飼育・訓練しており、ドアの開け閉めや、身の回りの品の運搬などを覚えさせている。

今は老人ホームなどにセラピー犬として派遣する活動が中心だが、来年にはようやく1〜3頭を奈良県内の家庭に無償譲渡できそうだ。「大好きな犬に囲まれて、人様にも喜んでもらえるのがうれしい」。一生懸命働いた犬の労をねぎらうため、老犬ホームや墓地も整備する予定だ。